

大使館情報

2022年7月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) リベイロ前教育大臣の逮捕
- (2) アマゾナス州西部における英国人記者殺害事件
- (3) ボルソナーロ政権の支持率
- (4) 2022年大統領選に関する世論調査
- (5) ペルナンブーコ州の災害への対応

[外交]

- (1) 伯パラグアイ外相電話会談
- (2) 伯ドミニカ共和国外相電話会談
- (3) ボルソナーロ大統領とボーグ・マルタ共和国外相との会談
- (4) ボルソナーロ大統領による米国訪問
- (5) コロンビア次期大統領選出に際する伯政府の祝意
- (6) ボルソナーロ大統領の BRICS 首脳会合（オンライン）への参加
- (7) 伯露電話首脳会談

3. トピックス

- (1) 林大使のトカンチンス州公式訪問（6月1～3日）
- (2) 「日本人移住の日」におけるブラジリア市内での清掃活動とライトアップ（6月18日）
- (3) 第10回ブラジリア日本祭りの実施（6月24日～26日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢 (6月発表の経済指標)

- (ア) 4月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%、前年同月比▲0.5%となった。
- (イ) 4月の小売売上高は前月比+0.9%、前年同月比+4.5%となった。
- (ウ) 5月の拡大消費者物価指数 (IPCA) は前月比+0.47%となり、前月 (+1.06%) から上昇幅は0.59%ポイント縮小。直近12か月累計は+11.73%となり、前月 (同+12.13%) から上昇幅は0.40%ポイント縮小した。
- (エ) 失業率 (3~5月) は9.8%となり、3か月前 (2021年12月~2022年2月) の移動平均11.2%から1.4%ポイント低下。また前年同期比 (2021年3~5月) の14.7%から4.9%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査 (Focus 調査) については、定期的な更新はなかったが6月3日時点の数値のみ公表。GDP成長率予測については、2022年は+1.20%で、2023年は+0.76%となった。インフレ率については、2022年は8.89%で、2023年は4.39%となった。

(2) 経済政策等

6月23日、大統領は、燃料、エネルギー、交通、通信といった必要不可欠な財やサービスに対する ICMS (州税、商品流通サービス税) の税率の上限を17%~18%とする補足法を裁可。これに伴いサンパウロ州をはじめとする一部の州が税率の引下げを実施。

(3) 金融政策

6月14日及び15日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) において、政策金利である Selic 金利を50bp引き上げて13.25%とすることが決定された。政策金利の引上げは2021年3月以降11回連続。次回会合は8月2日及び3日に開催予定。

(4) 為替市場 (レートは伯中銀の公表値から算出)

- (ア) 6月の為替市場は4.78~5.24リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.78~5.12リアル/ドルで推移。米国の金融政策を巡る動向等を材料に、概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は5.13~5.24リアル/ドルで推移。世界経済の見通しの他、ブラジルでの財政懸念や石油会社を巡る動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 6月の株式市場は98,080~112,393ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は102,063~112,393ポイントで推移。米国の金融政策を巡る動向

やブラジルの財政懸念等を材料に、概ね下落傾向で推移した。

(ウ) 月の後半は 98,080~100,764 で推移。世界経済の見通しや資源価格の動向等を材料に、概ね横ばいで推移した。

2. ブラジル政治情勢 (6月の出来事)

【内政】

(1) リベイロ前教育大臣の逮捕

6月22日、教育省の汚職事件について捜査を行っていた連邦警察は、ミルトン・リベイロ前教育大臣を、在任中の汚職への関与及び収賄の容疑にて逮捕した。また、教育省の捜索を行うとともに、福音派の牧師2名を逮捕した(リベイロ前大臣は、翌23日に釈放)。

(2) アマゾナス州西部における英国人記者殺害事件

6月5日、アマゾナス州西部ジャバリ溪谷で取材中の英国人記者ドン・フィリップス氏と先住民専門家(国立先住民財団(FUNAI)職員ブルーノ・ペレイラ氏が行方不明となり、15日、連邦警察は同2名の死亡を確認する発表を行った。

(3) ボルソナーロ政権の支持率

6月23日、Datafolha社が公表した6月22日から23日にかけて、2556人を対象に実施した世論調査の結果によれば、ボルソナーロ政権の支持率は、26%(前回調査:25%)、不支持率は47%(前回調査:48%)となっている。

(4) 2022年大統領選に関する世論調査

6月23日、Datafolha社が公表した6月22日から23日にかけて、2556人を対象に実施した世論調査の結果によれば、第1回戦投票で投票したい人物はルーラ元大統領(PT)が47%(前回5月調査:48%)、ボルソナーロ大統領(PL)が28%(前回調査:27%)となっている。

(5) ペルナンブーコ州の災害への対応

ペルナンブーコ州の災害対応について、5月28日から6月15日までの実績を国防省が公表したところ、伯軍は、住民約5000人の避難支援、飲料水約10万リットルの給水支援、食料(バスケット)約3000個の配布を行った他、数十カ所の道路啓開や捜索を行った。本災害対応では常時約600人の軍人が活動中。

【外交】

(1) 伯パラグアイ外相電話会談

6月1日、フランス外相は、アリオラ・パラグアイ外相と電話会談を行い、統合橋梁及びパラグアイ川に架かる橋梁の建設といった二国間の諸テーマ等について協議し、アルド・デ・カンポス・コスタ氏の国連人権委員会への立候補へのパラグアイの支援を依頼した。

(2) 伯ドミニカ共和国外相電話会談

6月1日、フランス外相は、アルバレス・ドミニカ共和国外相と電話会談を行い、経済協力等の二国間関係のテーマについて協議し、アルド・コスタ氏の国連人権委員会への立候補へのドミニカ共和国の支援を依頼した。

(3) ボルソナーロ大統領とボーグ・マルタ共和国外相との会談

6月4日、ボルソナーロ大統領は、訪伯したボーグ・マルタ共和国外相と会談し、同会談にはフランス外相が同席した。ボルソナーロ大統領は、ラテンアメリカ地域初となるマルタ共和国大使館の開設を歓迎し、EU・メルコスール FTA 支援につき、同共和国政府に対し謝意を述べた。

(4) ボルソナーロ大統領による米国訪問

6月8日～11日、ボルソナーロ大統領は米国を訪問し、第9回米州サミットに参加するとともに、9日には、バイデン米大統領との初めての首脳会談を行った。ボルソナーロ大統領は首脳会談冒頭にて、アマゾン地域を含む環境問題、民主主義や伯の選挙、ウクライナ紛争、二国間関係の強化について述べた。また、米州サミットでは、10日の第2セッションにおいて、食料安全保障・環境保全・エネルギー転換等に関するスピーチを実施した。その他、10日には、伯コロンビア首脳会談、伯エクアドル首脳会談、伯ドミニカ共和国首脳会談を実施し、11日在オランダ副総領事館の開所式へ参加した。

(5) コロンビア次期大統領選出に際する伯政府の祝意

6月21日、伯外務省は、ペトロ次期コロンビア大統領選出に際し、プレスリリースを通じて祝意を述べ、同次期大統領が責務を果たすことを祈念し、伯コロンビアの二国間関係の継続・深化に関する約束を再確認する旨表明した。

(6) ボルソナーロ大統領の BRICS 首脳会合（オンライン）への参加

6月23日、中国議長の下、BRICS 首脳会議がオンラインにて実施され、ボルソナーロ大統領が参加した。同大統領は、スピーチの中で、国際機関の改革に向けた BRICS の結束を強調し、また、BRICS は国際場裏の安定や繁栄のみならず、雇

用・賃金の創出、国民の福祉にも貢献すべきであると述べた。

(7) 伯露電話首脳会談

6月27日、伯露電話首脳会談が行われ、露政府の公式発表によると露が伯の農業分野に対する肥料の滞りない供給を保証した旨、またボルソナーロ大統領の発言によると同会談の主な議題は食料及びエネルギー安全保障であった旨伯国内主要メディアが報じた。

3. トピックス

(1) 林大使のトカンチンス州公式訪問（6月1～3日）

6月1～3日に、林大使はトカンチンス州への公式訪問を実施。1日は、カンチンス州政府庁舎（アラグアイア宮）にて、儀仗兵による歓迎式典を受けた後、ジャイロ・マリアノ官房長、ファビオ・ヴァス教育局長等と懇談。その後、トカンチンス州立学校2校訪問（Escola Estadual Cívico-Militar Vila União、Escola Estadual Professora Elizângela Glória Cardoso）し、学校の教育活動を視察するとともに、日本の学校との交流を提案した。



州政府幹部と



トカンチンス州立学校への訪問

2日には、トカンチンス日伯文化協会を訪問し、多くの方々から歓迎を受けた。同協会で柔道場やゲートボール場を視察したほか、記念の植樹を行った。また、シンチア・ヒベイロ・パルマス市長と面会し、これまでの日パルマスの協力関係、教育分野における協力について意見交換を実施。また、パルマス市立学校2校を訪問し、学校の教育活動を視察するとともに、日本の学校との交流を提案。また、夜には伯大豆生産者協会（APROSOJA）代表者と同州の大豆生産の状況や生産にかかるインフラ等について懇談の機会をもった。



日伯文化協会柔道場を視察



日伯文化協会ゲートボール場視察



パルマス市立幼稚園への訪問



シンチア・ヒベイロ・パルマス市長を表敬

3日には、大豆由来のバイオディーゼル、大豆油及び家畜用飼料の生産現場である GRANOL 工場を視察したのち、トカンチンス在住の元国費留学生と日本への留学を喚起するための取組について意見交換を行った。また、トカンチンス連邦大学を訪問し、ボボレット学長と日本語学科設置の構想や日本の大学との研究交流に関して意見交換を実施。懇談の合間をぬって、当地のテレビ局からも訪問の意義等についてインタビューを受けた（インタビューの様子は以下のリンク先から）。



GRANOL 社工場視察



トカンチンス連邦大学ボヴォラト学長との懇談

 [TV Record によるインタビュー](#)

 [SBT によるインタビュー](#)

(2) 「日本人移住の日」におけるブラジリア市内での清掃活動とライトアップ (6月18日)

「日本人移住の日」である6月18日、林大使は、当館とブラジリア国際青年会議所 (JCI Brasilia) が共催した清掃プロジェクト「Limpa Brasilia」に参加。今回がブラジリアでは初めての開催となった。日常生活の中で公衆衛生や環境に配慮する姿勢を育むことがこの活動の目的であり、林大使からも、「日本人移住の日は、移民を受け入れてくれた国への恩返しをするとともに、日系ブラジル人コミュニティでも培われているこの価値観を広めるための絶好の機会」と説明。ブラジルの日系社会にとって歴史的・文化的に重要な場所である寺院を出発点に、街頭での清掃を実施した。

また、同日の夜、「日本人移住の日」を記念して、国立図書館及びカテドラルが、日本の国旗 (日の丸) の色である赤色にライトアップされた。



(3) 第10回ブラジリア日本祭りの実施 (6月24日~26日)

6月24日~26日、当館はブラジル中西部日伯文化協会連合会 (FEANBRA) と共催で「第10回ブラジリア日本祭り」を実施。当館は観光 PR や国費留学生相談ブース、フォトスポット、食品サンプルの展示、和食・日本酒ワークショップを行い、盛況となった。また、25日には林大使が開会挨拶をした他、墨絵のデモンストレーションを披露した。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新中（以下リンク先をご参照されたい）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所 : [facebook](#)

在マナウス総領事館 : [facebook](#)

在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和3年度第4四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2022年4月5日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区

- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html